

市政に対する

一般質問

各質問議員の
QRコードからは、
それぞれの一般質問の
動画をご覧ください。



柴 恵 議員

- 市政運営について
- 公約の推進について
- 新庁舎周辺整備事業について
- 地域公共交通について
- 新型コロナワクチンについて



一般質問はこちら

今こそ「遊ぶ・学ぶ・にぎわう」 複合交流拠点の整備を

代表質問

市長公約である、まちの活力再生・魅力創出プロジェクトのうち、図書館と子ども広場を核とした「遊ぶ・学ぶ・にぎわう」機能が相互に連携する複合交流拠点は、市民にとって、自宅や学校、職場とは異なる、新たな居場所となる施設で、令和6年度の開館が予定されています。

未来の真岡を見据え、教育環境、子育て支援の充実を図るためにも、今こそ、整備を進める必要があると思いますが、市長の考えを伺います。

答弁

「遊ぶ・学ぶ・にぎわう」複合交流拠点は、多くの市民が、それぞれの目的で訪れ、心地よく過ごせる居場所となるよう、子育て支援センター、屋内型子ども広場、図書館、地域交流センターを備えた複合施設を整備するものです。

真岡の未来を見据えて、子育ての支援と教育環境の充実、さらに中心市街地活性化による「選ばれる都市もおか」実現のため、今こそ、複合交流拠点の整備を推進していきます。

※まちの活力再生・魅力創出プロジェクト…真岡市が掲げるまちづくりの基本戦略のひとつで、若い世代が魅力を感じ、担い手となって未来を共に描いていけるような新たなもおかの元気を創出する取組み。



大貫 聖子 議員

- もおかっ子をみんなで育てよう条例について
- ICT教育について
- 科学教育センターについて
- 自然教育センターについて



一般質問はこちら

ICT教育基本構想における今後の計画は

質問

令和2年度は、コロナウイルスの影響により、国におけるGIGAスクール構想の計画が前倒しされました。

本市では、以前より、全校に電子黒板の整備やタブレット端末の利用、各校におけるネット環境の整備などを行ってきましたが、今回、国のGIGAスクール構想の前倒しに伴い、本市におけるICT教育基本構想の今後の計画について伺います。

答弁

市役所庁舎内に学校サーバを移転し、学習系と校務系のネットワークを分離し、インターネット回線の強化を進め、全校でICT機器やデジタル教材等が活用できるよう環境整備を行います。

また、児童生徒の確かな学力向上が図れるよう、各校でICTを効果的に活用するための推進計画等を策定します。

※GIGAスクール構想…災害や感染症の発生等による学校の臨時休業など緊急時でも、ICTの活用により全ての子どもたちの学びを保障できるよう「1人1台端末」や「家庭でも繋がる通信環境」の早期実現を目指すものです。



池上 正美 議員

- 新型コロナ禍における対応について
- 公共施設管理計画について
- 犬・猫等のペットについて
- カーボンニュートラルについて



一般質問はこちら

本市における犬・猫の現状と鑑札チップの導入計画は

質問

少子高齢化時代において、犬や猫は家族の一員であると考えています。

一方、捨て犬や捨て猫による被害が増えています。

①本市における犬・猫の登録数及び避妊手術や狂犬病注射の実態はどのようになっていますか。

②登録や迷子犬を的確にするためのマイクロチップ導入計画はどの程度進んでいますか。

答弁

①犬の登録数は4,303頭で、猫は推計で約5,150匹が飼育されており、令和2年度の避妊手術は、犬が45件、猫が265件、狂犬病予防注射の実施件数は3,002件で、接種率は69%にとどまっています。

②マイクロチップは、動物愛護法の改正で、2022年6月から販売者に対して装着と情報登録が義務化されますが、それ以前の犬等は努力義務であり、現時点では国や県等の動向を注視しているところです。

※マイクロチップ（鑑札チップ）…大切なペットが迷子や地震などの災害で離ればなれになっても、飼い主のもとに戻って来られるよう、データを登録し、ペットに装着するものです。



服部正一郎 議員

- 農作物、農機具盗難防止対策について
- 一般県道西田井二宮線（東大島工区）の整備計画について
- 東京オリンピック出場決定、水沼尚輝選手の応援について
- 外来生物の被害防止について
- 観光事業推進について



一般質問はこちら

農作物・農機具の盗難被害の実態は

質問

農作物の盗難が全国各地で発生し、農家が深刻な打撃を受けている実態が報告されています。真岡市も例外ではなく、手塩にかけた果実・野菜が収穫期に盗難にあっています。

高額な農機具なども被害にあっており、加えて、耕作地を荒らされたり、施設を壊されたりといった二次的被害も甚大で、被害者の多くは泣き寝入りを余儀なくされています。

本市の被害の実態について、どの程度把握しているのか伺います。

答弁

近年、イチゴなどの農作物の盗難が全国各地で発生しており、本市においても一定程度、盗難被害があることは認識していますが、真岡警察署に被害届が提出されていないものも多く、農作物の具体的な被害の実態については、把握できていません。

農機具については、栃木県警察本部によると、県内でのトラクター盗難被害について、本年1月から5月までで前年比14件増加の29件発生していることを確認しています。



櫛毛 隆行 議員

- 新型コロナウイルスについて
- 農業行政について



一般質問はこちら

「全国いちごサミット」を開催するための数値目標は

質問

昨年3月に開催予定であった、「全国いちごサミット in もおか」は、新型コロナウイルス感染症拡大を受け、来場者や関係者の健康・安全面への影響を第一に考え、再延期となっています。

公式ホームページでは、開催の目安として、「感染状況収束が見極められるようになったら」となっていますが、開催を決定するための数値的な目標があるのか伺います。

答弁

市独自の数値目標は定めていませんが、国や県の指標である警戒度基準に基づき、警戒度レベルが「感染観察」程度まで下がらないと開催は難しいものと考えています。

また、全国的なワクチン接種の状況や効果を検証し、安全に開催できるよう検討していきます。

今後、感染症の収束を見据え、しかるべき開催時期を協議し、速やかにPR活動を展開するなど、開催に向けた機運を高めていきます。

※警戒度レベル「感染観察」…感染者の発生は散発的であり、クラスターが発生した場合でも感染経路を特定（推定）できており、病床にも余裕があるため、引き続き観察を行う状態。



飯塚 正 議員

- 新型コロナウイルス対策について
- 生産緑地制度の導入について
- 多面的機能支払交付金事業について
- 下水道使用料の賦課漏れについて
- 地方創生臨時交付金について
- 庁舎内案内看板について



一般質問はこちら

多面的機能支払交付金事業で事務作業の担当者を配置しては

質問

市貝町の多面的機能支払交付金事業において、2つの協議体が共同で、事務作業の担当者を採用したとのこととです。

真岡市では、地域によって田園環境が良いとは言えない箇所が目につきますが、今後の農業振興地域における環境保全是大きな課題です。

真岡市も地域組織活発化のため、また、これから事業を立ち上げる地区のためにも、関係部署に専門の担当者を配置してはどうでしょうか。

答弁

本市では現在、西沼・中・赤羽・清水・東大島の5地区で多面的機能支払交付金事業に取り組んでおり、経理や事業実績報告などの事務作業について、各組織が行っています。

現在のところ、特に組織運営に支障をきたしているとは認識していませんが、今後、多くの地区で事業に取り組む、事務作業を共同で行う必要がある場合には、協議会形式による事務職員の配置など、負担の軽減策について検討していきます。

※多面的機能支払交付金…農道の草刈りや水路の補修など、地域の共同活動や地域資源の保全活動に対する交付金です。



春山 則子 議員

- 市長の政治姿勢について
- 女性職員の活躍の推進について



一般質問はこちら

来年度以降の女性課長の登用は

質問

今年度は、女性職員の課長昇任はありませんでした。

女性課長が1人では、男性ばかりの課長職の中で発言力も弱くなってバランスが取れない状況となり、相談する相手がおらず、発言して良いものか悩むこともあるはずとです。

女性の考えを埋もれないようにし、行政へ反映させるためにも、2人目、3人目の女性課長登用を急ぐべきと考えますが、市の考えを伺います。

答弁

現在は1人である女性の管理職を令和7年度までに7人以上、割合にして15%以上とすることを成果目標の1つに掲げています。

昇任者の選考については、人事評価等の結果に基づき、性別に関わらず優秀な職員を登用していく方針ですが、現在、女性の課長補佐職が5人おり、また、係長職については、39.5%にあたる30人が女性であることから、近い将来、女性管理職の人数も増えると考えています。

※管理職…管理・監督する立場にある者の職です。ここでは、部長・課長相当の職を指しています。



中村 和彦 議員

- 新庁舎周辺整備事業について
- 中心市街地の活性化について
- 新型コロナウイルス感染症の対策について
- 福祉政策について



一般質問はこちら

『まちづくりプロジェクト』の今後の活動内容と最終目的は

質問

今年度から真岡市では『まちづくりプロジェクト』がスタートし、これまでに20名の方々がプロジェクトのメンバーとして選ばれ、そのうち10名が高校生と大学生とのことで、未来を担う若い世代が積極的に参加している状況は、大変頼もしく感じるところです。

そこで、『まちづくりプロジェクト』の今後の具体的な活動内容やタイムスケジュール、最終目的についてお伺いします。

答弁

今後開催する2回のワークショップでは、金鈴荘や二宮コミュニティセンターの芝生広場といった対象地の活用アイデアをまとめ、7月以降、実際に参加者の手によって社会実験を実施していきます。

実験後は、そこで得られた効果と課題を検証したうえで、事業としての継続性や、事業化した際の費用等についても検討を行い、プロジェクト終了後は、「(仮称)まちづくり推進機構」の設立を目指します。

※真岡まちづくりプロジェクト…民間のアイデアを活かしながら、真岡地区と久下田地区の中心市街地活性化を目指すプロジェクト。質問(6月15日)の時点で、すでに2回のワークショップが開催されています。



荒川 洋子 議員

- 新型コロナワクチン接種の体制整備について
- 無電柱化の街づくりについて
- ヤングケアラーの実態と支援策について
- コロナ禍における女性の負担軽減について
- マスク着用困難者にカードとバッジの配布について
- 難病支援眼鏡の購入費助成について



一般質問はこちら

寝たきり高齢者などへの訪問接種や教職員などへの早期接種の考えは

質問

寝たきりの高齢者など、会場に向けない方への訪問接種はされているのか伺います。

教職員や保育士は、夏休みに2回の接種が完了していることで、2学期が始まる時には安全・安心の学校生活をスタートすることができます。消防職員には、赤ちゃんから高齢者まで全ての方の救急に携わり、病院へつないでいただいています。

このような観点から、早期接種の体制を整備してはどうでしょうか。

答弁

会場に向けない方への接種については、かかりつけ医による往診での対応をお願いしています。

消防職員については、6月2日に対象職員全員が2回の接種を終えたと聞いています。今後、小中学校教職員については夏休みを利用した接種を計画するとともに、保育所や幼稚園の職員、消防団員、訪問介護従事者など配慮が必要な方々については、事業所や団体と調整を図りながら優先接種を計画していきます。



日下田喜義 議員

- 空き家対策について
- 学校での食物アレルギー対応について
- 高齢者の安心の確保について



一般質問はこちら

救急医療情報キット配布事業の利用者数と今後の推進方法は

質問

高齢者のみの世帯の緊急時の支援として、救急医療情報キット配布事業があります。

高齢者にとって、救急時の一刻も早い処置が、その後の健康と生命に大きくかかわってきます。

独居高齢者及び高齢者夫婦のみの世帯への救急医療情報キット配布事業の利用者は何人いるのでしょうか。緊急通報システムを含め、今後、どのような方法で推進していくのでしょうか。

答弁

救急医療情報キット配布事業の利用者数は、令和3年5月末現在で、967人です。

緊急通報システムと救急医療情報キット配布については、民生委員が毎年10月に行う世帯調査の際に、対象世帯へ制度の説明と、申請について周知をしています。今後も、地域の学習会等に出向き説明するほか、地域包括支援センター、ケアマネージャーを通じて、幅広く情報提供を行っていきます。

※救急医療情報キット…医療情報・薬剤情報・緊急連絡先などを記入した用紙を、専用容器に入れて自宅の冷蔵庫で保管するものです。

広報広聴委員会の「これまで」と「これから」

令和3年3月22日～26日

市民アンケート実施

市議会だよりの新タイトルが「みんなの議会」に決定！ご協力くださった皆様、ありがとうございました！



令和3年8月10日

「みんなの議会見学ツアー」開催予定

夏休み中の小学4～6年生にも議会や議員の仕事を知ってもらいたい！

令和3年5月18日

広報広聴委員会 設置

「真岡市議会だより編集委員会」と「議会報告会運営チーム」の活動を引き継ぎました！

令和2年10月23日

広報広聴準備委員会 設置

市議会だよりのリニューアルについて検討を始めました！



令和3年5月21日

JLCで活動する高校生との座談会

2～3ページで特集しています！

広報広聴委員会は、議会の情報を発信（広報）するとともに、広く市民の意見を把握（広聴）し、審査に反映させるための委員会です。

【委員長】中村 和彦 【副委員長】櫛毛 隆行
麦倉 竹明 大貫 聖子 日下田 喜義
渡邊 隆 藤田 勝美